

項目 (英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)	論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻：始頁-終頁 ・邦文雑誌名は医学中央雑誌、欧文雑誌名はIndex Medicus (Medline) の省略方法に準じて記載すること。 ・AMA style (JAMA の引用法) (JAMA1997:277:927—934) に準じて記載すること ・ 貴院所属の著者名に下線を引いて下さい。	雑誌名 (再掲)	貴院著者名 (漢字) ・英文の場合は、貴院著者名を漢字で記載してください。 ・和文の場合は記載不要です。 ・corresponding author の場合著者名の後に (corresponding autho) と記載すること	所属 ・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること	インパクト ファクター (2013)
和文総説・著書(筆頭筆者)	今里真 神経筋疾患患者さんの胃瘻への誤解と対応 (科学と倫理)。難病と在宅ケア 2015; 21: 5-9	難病と在宅ケア			
和文総説・著書(筆頭筆者)	今里真 「延命」という医療拒否に誘導されやすい用語を用いるべきではない。経腸栄養(吉田貞夫編)。P14。サイオ出版。2015	経腸栄養			
和文総説・著書(筆頭筆者)	今里真 パルンによる十二指腸閉塞。経腸栄養(吉田貞夫編)。P58-60。サイオ出版。2015	経腸栄養			
和文総説・著書(筆頭筆者)	今里真 胃食道逆流・嘔吐と誤嚥性肺炎。経腸栄養(吉田貞夫編)。P162-167。サイオ出版。2015	経腸栄養			
和文総説・著書(筆頭筆者)	今里真 神経筋疾患患者さんの胃瘻への誤解と対応 (科学と倫理)。ALSマニュアル決定版！ Part2 (中島孝監修)。P217-221。日本プランニングセンター。2016	ALSマニュアル決定版！ Part2			
和文総説・著書(筆頭筆者)	後藤清恵 遺伝カウンセリングにおけるバイオサイコソーシャルアプローチ。家族療法研究。32巻1号 Page9-14(2015.04)	家族療法研究			
英文原著論文(筆頭筆者)	Koichi Kimura, Hiroyuki Morita, Masao Daimon, etc. Prognostic impact of venous thromboembolism in patients with Duchenne muscular dystrophy: Prospective multicenter 5-year cohort study. International journal of cardiology 191: 178-180. (July 15, 2015)	International journal of cardiology	木村 公一		4.036
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Comprehensive data analysis of human ureter proteome. Magdeldin S, Hirao Y, El Guoshy A, Xu B, Zhang Y, Fujinaka H, Yamamoto K, Yates JR 3rd, Yamamoto T. Data Brief. 2016 Feb 3;6:853-7.	Data Brief	藤中 秀彦	臨床研究センター・部所属	
英文原著論文(筆頭筆者以外)	A proteomic glimpse into human ureter proteome. Magdeldin S, Hirao Y, Elguoshy A, Xu B, Zhang Y, Fujinaka H, Yamamoto K, Yates JR 3rd, Yamamoto T. Proteomics. 2016 Jan;16(1):80-4.	Proteomics	藤中 秀彦	臨床研究センター・部所属	3.807
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Avian Podocytes, Which Lack Nephlin, Use Adherens Junction Proteins at Intercellular Junctions. Yaoita E, Nishimura H, Nameta M, Yoshida Y, Takimoto H, Fujinaka H, Kawachi H, Magdeldin S, Zhang Y, Xu B, Oyama T, Nakamura F, Yamamoto T. J Histochem Cytochem. 2016 Jan;64(1):67-76	J Histochem Cytochem	藤中 秀彦	臨床研究センター・部所属	1.959
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Datasets from label-free quantitative proteomic analysis of human glomeruli with sclerotic lesions. Zhang Y, Xu B, Kinoshita N, Yoshida Y, Tasaki M, Fujinaka H, Magdeldin S, Yaoita E, Yamamoto T. Data Brief. 2015 May 27;4:180-5	Data Brief	藤中 秀彦	臨床研究センター・部所属	

項目 (英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)	論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻：始頁-終頁 ・邦文雑誌名は医学中央雑誌、欧文雑誌名はIndex Medicus (Medline) の省略方法に準じて記載すること。 ・AMA style (JAMA の引用法) (JAMA1997:277:927—934) に準じて記載すること ・貴院所属の著者名に下線を引いて下さい。	雑誌名 (再掲)	貴院著者名 (漢字) ・英文の場合は、貴院著者名を漢字で記載してください。 ・和文の場合は記載不要です。 ・corresponding author の場合著者名の後に (corresponding autho) と記載すること	所属 ・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること	インパクト ファクター (2013)
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Complementary protein and peptide OFFGEL fractionation for high-throughput proteomic analysis. Magdeldin S, Elguoshy A, Yoshida Y, Hirao Y, Xu B, Zhang Y, Yamamoto K, Takimoto H, Fujinaka H, Kinoshita N, Yamamoto T. Anal Chem 2015 Aug 18;87(16):8481-8	Anal Chem	藤中 秀彦	臨床研究センター・部所属	5.636
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Label-free quantitative proteomic analysis reveals strong involvement of complement alternative and terminal pathways in human glomerular sclerotic lesions. Zhang Y, Xu B, Kinoshita N, Yoshida Y, Tasaki M, Fujinaka H, Magdeldin S, Yaoita E, Yamamoto T. J Proteomics 2015 Jun 18;123:89-100	J Proteomics	藤中 秀彦	臨床研究センター・部所属	3.888
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Unrestricted modification search reveals lysine methylation as major modification induced by tissue formalin fixation and paraffin embedding. Zhang Y, Muller M, Xu B, Yoshida Y, Horlacher O, Nikitin F, Garesuss S, Magdeldin S, Kinoshita N, Fujinaka H, Yaoita E, Hasegawa M, Lisacek F, Yamamoto T. Proteomics 2015 Aug;15(15):2568-79	Proteomics	藤中 秀彦	臨床研究センター・部所属	3.807
和文総説・著書(筆頭筆者)	高橋千晶, 奥寺敬.ECS(Emergency Coma Scale).「脳神経外科救急ハンドブック」, 347-349, メディカ出版, 大阪, 2015	脳神経外科救急ハンドブック			
和文原著論文(筆頭筆者)	高橋千晶, 奥寺 敬, 若杉雅弘, 旭 雄士. Emergency Coma Scaleの有用性の検証.日本神経救急学会雑誌 27, 17-22, 2015.	日本神経救急学会雑誌			
英文原著論文(筆頭筆者)	Takahashi C, Okudera H, Wakasugi M. Evaluation of the accuracy of the Emergency Coma Scale: E-COMET STEP II. Am J Emerg Med 34, 100-101, 2016.	Am J Emerg Med	高橋 千晶		1.274
和文総説・著書(筆頭筆者)	高橋千晶, 奥寺 敬:意識障害の評価,「PNLSガイドブック」, 29-36, メディカ出版, 大阪, 2016.	PNLSガイドブック			
和文総説・著書(筆頭筆者)	松浦富士子、廣門三千子、永重英子、加藤晴美、山中千絵 臨床のリアルな現象を現出した「シミュレーション演習」の学生の学び—時間軸を加えた事例から—国立病院看護研究学会学術集会集録集 (1349-6050)13回 Page82(2015.11)	国立病院看護研究学会学術集会集録集			
和文総説・著書(筆頭筆者)	日下慶子、廣門三千子、佐藤寿美江、下山田真由美、八田聡子 臨床のリアルな現象を現出した「シミュレーション演習」を指導した教員からみた学生の学びの様相 国立病院看護研究学会学術集会集録集 (1349-6050)13回 Page82(2015.11)	国立病院看護研究学会学術集会集録集			
和文総説・著書(筆頭筆者以外)	村松優子、増山博信、渡邊久美子、小宮美絵、山中千絵 看護学生が学びを実感できたカンファレンス 国立病院看護研究学会学術集会集録集 (1349-6050)13回 Page50(2015.11)	国立病院看護研究学会学術集会集録集			
和文総説・著書(筆頭筆者以外)	千野廣子、手塚宏美、長谷川陽子、渡邊陽子、松浦富士子、小野上由香 基礎看護技術の教授方法の実態～生活習慣の現状を踏まえた清潔援助の動作に焦点をあてて～国立病院看護研究学会学術集会集録集 (1349-6050)13回 Page91(2015.11)	国立病院看護研究学会学術集会集録集			

項目 (英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)	論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻、始頁-終頁 ・邦文雑誌名は医学中央雑誌、欧文雑誌名はIndex Medicus (Medline)の省略方法に準じて記載すること。 ・AMA style (JAMAの引用法) (JAMA1997;277:927—934)に準じて記載すること ・貴院所属の著者名に下線を引いて下さい。	雑誌名 (再掲)	貴院著者名 (漢字) ・英文の場合は、貴院著者名を漢字で記載してください。 ・和文の場合は記載不要です。 ・corresponding authorの場合著者名の後に (corresponding autho)と記載すること	所属 ・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること	インパクト ファクター (2013)
和文総説・著書(筆頭筆者以外)	加藤浩子、浅野裕美子、五畿田芳枝、山中教子、會田美恵子、八田聡子、加藤晴美 臨地実習における学生の事前学習に関する研究の動向と課題 国立病院看護研究学会学術集会集録集 (1349-6050)13回 Page85(2015.11)	国立病院看護研究学会学術集会集録集			
和文総説・著書(筆頭筆者以外)	柳川千恵美、平井隆行、佐竹良子、下山田真由美、佐藤寿美江、奥田映里子、滝平喜子 社会人学生の臨地実習における思い 国立病院看護研究学会学術集会集録集 (1349-6050)13回 Page50(2015.11)	国立病院看護研究学会学術集会集録集			
和文原著論文(筆頭筆者)	柳田光利、桑村良隆、木下 悟、中島孝、富沢修一、小澤哲夫、Real-time PCR法を用いたインフルエンザウイルス網羅的検出法の構築。臨床病理 2015;63:1365-70	臨床病理			
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Migita, K., Akeda, Y., Akazawa, M., Tohma, S., Hirano, F., Ideguchi, H., Kozuru, H., Jiuchi, Y., Matsumura, R., Suematsu, E., Miyamura, T., Mori, S., Fukui, T., Izumi, Y., Iwanaga, N., Tsutani, H., Saisyo, K., Yamanaka, T., Ohshima, S., Mori, N., Matsumori, A., Takahi, K., Yoshizawa, S., Kawabe, Y., Suenaga, Y., Ozawa	Medicine (Baltimore)	小澤哲夫		5.723
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Migita, K., Akeda, Y., Akazawa, M., Tohma, S., Hirano, F., Ideguchi, H., Kozuru, H., Jiuchi, Y., Matsumura, R., Suematsu, E., Miyamura, T., Mori, S., Fukui, T., Izumi, Y., Iwanaga, N., Tsutani, H., Saisyo, K., Yamanaka, T., Ohshima, S., Mori, N., Matsumori, A., Takahi, K., Yoshizawa, S., Kawabe, Y., Suenaga, Y., Ozawa	Arthritis Res Ther	小澤哲夫		3.753
和文原著論文(筆頭筆者)	池田 哲彦、遠藤 寿子、中島 孝、Orthopaedic Forum 整形外科領域における様々な話題 リハビリロボットの現状、Locomotive Pain Frontier, (2186-4306) 4巻1号 Page52-54(2015.04)	Locomotive Pain Frontier			
和文総説・著書(筆頭筆者以外)	下畑 享良、池田 哲彦、西澤 正豊、糖尿病診療マスター。2015年08月号(Vol.13 No.8): 低血糖性脳症 重症化の予防を目指して p653-657	糖尿病診療マスター			
和文総説・著書(筆頭筆者)	遠藤寿子、中島孝、ロボツスーツHALでロコモに挑む、VIVA!ORTHO.No.2,P8,2016年2月	VIVA!ORTHO			
和文総説・著書(筆頭筆者以外)	監修 中島孝、ALSマニュアル決定版! Part II (月刊「難病と在宅ケア」編集部編)、日本プランニングセンター、2016年2月、1-418	ALSマニュアル決定版! Part II			
和文総説・著書(筆頭筆者)	中島孝、希少性神経・筋疾患治療のためのHAL-HN01医師主導医療機器治験の実施研究、臨床評価、Vol.43,No.2,429-433,Jan 2016	臨床評価			
和文総説・著書(筆頭筆者)	中島孝、患者が輝きを手にするナラティブの書き換え、考える人、No.55,38-41, 2016	考える人			

<p>項目</p> <p>(英文原著論文、和文原著論文、和文総説・著書)</p>	<p>論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻：始頁-終頁</p> <p>・邦文雑誌名は医学中央雑誌、欧文雑誌名はIndex Medicus (Medline)の省略方法に準じて記載すること。 ・AMA style (JAMA の引用法) (JAMA1997; 277: 927—934)に準じて記載すること ・貴院所属の著者名に下線を引いて下さい。</p>	<p>雑誌名 (再掲)</p>	<p>貴院著者名 (漢字)</p> <p>・英文の場合は、貴院著者名を漢字で記載してください。 ・和文の場合は記載不要です。 ・corresponding authorの場合著者名の後に (corresponding autho) と記載すること</p>	<p>所属</p> <p>・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること</p>	<p>インパクト ファクター (2013)</p>
<p>和文総説・著書(筆頭筆者)</p>	<p>中島孝, 神経・筋疾患治療のための医療機器HAL-HN01医師主導治験の実施研究—Cybernic neurorehabilitationへ, Biophilia 電子版14, 第4巻 第2号, 21-28, 2015.7.10</p>	<p>Biophilia 電子版</p>			
<p>和文総説・著書(筆頭筆者)</p>	<p>中島孝, ロボットスーツの臨床応用, すべてがわかる神経難病医療 アクチュアル 脳・神経疾患の臨床, 中山書店, 235-241, 2015.6.10</p>	<p>すべてがわかる神経難病医療 アクチュアル 脳・神経疾患の臨床</p>			
<p>和文総説・著書(筆頭筆者)</p>	<p>後藤清恵, 中島孝, 心理的支援, すべてがわかる神経難病医療 アクチュアル 脳・神経疾患の臨床, 中山書店, 76-82, 2015.6.10</p>	<p>すべてがわかる神経難病医療 アクチュアル 脳・神経疾患の臨床</p>			
<p>和文総説・著書(筆頭筆者)</p>	<p>中島孝, 私の1本 ALSケアのすべてが描かれた音楽映画, 日本医事新報, No.4753, 77, 2015.5.30</p>	<p>日本医事新報</p>			